

松本市市議会議員 上條 温 様

猛暑が続き、コロナ感染症も増えてきました。日本の政治、経済は混沌とし、市民生活に支障が出てきました。上條様には議長職ご苦労様です。くれぐれもご自愛ください。

さて、私達「市民の会」は2017年から今日まで波田に「巨額病院」はいらない。「身の丈にあう病院」にすべきだと主張し続け松本市、市議会、医療関係者、市民、国、県、市町村他に「緊急提言」を26回出して警告してきました。

菅谷市長時代は、病院の杜撰で経営を無視した計画では病院が破綻すると、市を上げた検証で明らかになり凍結しました。臥雲市長は、当初これを踏まえ専門者会議の国の方針に沿った、経営改革を前提にした「提言」を了承しています。途中から、管理者の経営改革をしないで「巨額病院」を作る計画に賛同してしまいました。それにより、経営を度外視した計画に後戻りし、基本計画、基本設計と実施設計の予算が議会で了承され、後は本予算が了承されれば、建設が着工されます。

残念なことに、議員さんは医療・病院建設に関する判断基準を持ち合わせていません。病院の意見だけ信じて大丈夫でしょうか？ 医療施設を手掛ける業者だから大丈夫でしょうか？ 市長案件だから大丈夫でしょうか？ 巨額な病院が欲しい市立病院、大きな利益が欲しい業者、自分の業績が欲しい市長。これは市民のための病院ではありません。冷静に考えてみましょう。①124.6億円の建設費+医療機器他・什器費8億円=132.6億円、その金利は32億円、建設事業費総額164.6億円の1/2が30年で返す病院の起債です。2.7億円/年（金利を含む）から2.2億円/年（金利を含まない）を、6年連続赤字、コロナ禍の3年赤字の病院が返済することは不可能です。②国が命じた「経営強化プラン」に反した、収入を増やす計画は失敗します。これを監督官庁である総務省が認めるか疑問です。③病院建設費は、現病院の粗利40億円の1.2倍から1.5倍が上限だと言われており、48~60億円が妥当な金額です。これ以上だと破綻します。現行の124.6億円は60億円の約2倍になります。①、②、③から計画自体は全く成り立っていません。

このまま進めば、「巨額病院」は大赤字が続き、毎年膨大な税金を30年間注ぎ込む羽目になり、市の財政にヒビが入ります。全ての大型事業は先送りされ市民生活にも支障を来たすでしょう。

市議会は破綻する計画を了承するのですか。事実を知れば市民は賛成するのでしょうか。

今、国は医療を縮小する方針を固め実行しています。コロナ禍後患者さんの受診控えもあります。自治体病院の97%、全国の病院の80%が赤字です。国立系大学病院42中22が赤字で2、3年後には高度医療の維持は不可能と発表しました。医療界は、中小病院だけでなく、大病院も潰れる時代になっていることをご存知ですか？ こんな時期に、松本市が巨額な病院建設をするのは無謀な挑戦です。

是非、市立病院建設特別委員会の「委員」と膝を交えてお話する機会を持つことをお願いいたします。なお、10日以内にご返事をお願い申し上げます。

2024年8月15日

「新市立病院のあり方を考える市民の会」

代表：須澤博一 百瀬英司